

## 「SNSを活用した教育相談事業」をモデル事業として実施します ～LINEによる教育相談窓口を開設～

千葉市では、SNSを活用した教育相談事業をモデル事業として実施するため、10月からLINEアプリを利用した教育相談窓口をモデル的に開設しますので、お知らせします。

### 1 趣旨・目的

様々な悩みを抱える子供たちに対し、急速に普及している通信手段であるSNSを活用した相談体制を構築し、相談に係る多様な選択肢を用意することにより、いじめや不登校等の未然防止や早期発見、生徒指導上の諸問題の深刻化を防止する。

### 2 事業実施の背景

本市では、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーの配置拡充、各課・各教育センター等の相談窓口や「千葉市相談ダイヤル24」の設置など、様々な悩みを抱える子供たちに対する相談事業の充実に努めてきた。また、各学校においても組織的な体制を確立し、子供たちとの信頼関係を基本とした教育相談体制を充実させ、一人一人の個性の伸長や心身の健全な育成を図ってきた。

しかし、ここ数年、増加傾向にある不登校児童生徒やいじめを含め様々な生徒指導上の問題に悩む児童生徒への早期対応が課題となっている。

そこで、文部科学省の「SNSを活用した相談体制の構築事業」を活用し、LINEアプリを利用した教育相談窓口をモデル事業として実施し、その効果を検証する。

### 3 開設期間・相談時間

平成30年10月26日（金）～平成31年1月31日（木）（年末年始は除く）を予定  
平日、土日ともに、17:00～21:00まで

### 4 対象者

千葉市立学校の中高校生  
(約25,000人のうち希望者)

### 5 相談方法

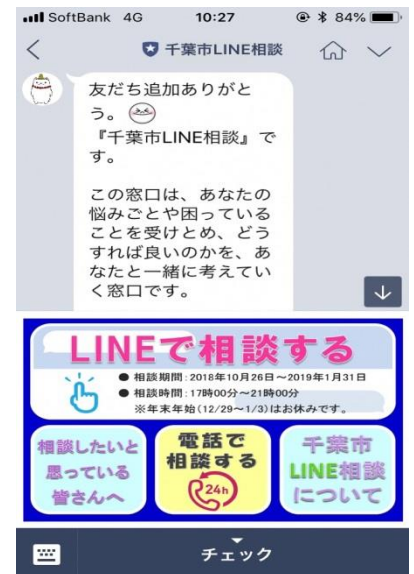
- 対象者及び保護者には、事前にQRコードの印刷されたお知らせ文を配布する。QRコードをスマートフォン等で読み取って、「千葉市LINE相談」を「友だち追加」する。
- 相談時間中に、「千葉市LINE相談」に「トーク」でメッセージを送ると、臨床心理士等の専門の相談員が相談に応える。

### 6 運営形態

業務委託により運営  
委託業者：ダイヤル・サービス株式会社（東京都千代田区三番町6-2）

### 7 今後の予定

モデル事業の効果を検証し、次年度以降の事業実施の方向性を検討する。



LINE相談イメージ図

### <参考>

#### 1 「千葉市相談ダイヤル24」とは

いじめ問題などで悩む児童生徒や保護者等が相談することができる、24時間体制の電話相談。  
平成19年2月に開設した。

#### 2 文部科学省の「SNSを活用した相談体制の構築事業」とは

未然防止の観点から、いじめを含め様々な悩みを抱える児童生徒に対するSNS等を活用した相談体制構築を推進し、児童生徒の相談に係る多様な選択肢を用意することにより、教育相談体制の充実を図ることを目的に、各自治体の事業立ち上げ・準備経費に補助金を交付する事業。